

(様式1)

ながのまちづくり活動公開審査申込書

申込年月日	平成25年1月30日	受付番号	2
活動部門・コース	① 企画・研究部門 2 実践活動部門	① ホップコース(スタート枠) ② ホップコース ③ ステップコース ④ ジャンプコース	
団体の名称	(フリガナ) トクテイヒエイリカツドウホウジン ナガノスポーツコミュニティクラブトウホク 特定非営利活動法人 長野スポーツコミュニティクラブ東北		
団体の所在地			
代表者	(フリガナ) コバヤシカズオ 氏名 小林 和夫		
連絡先 (連絡責任者)			
団体の設立年月日	平成24年9月12日		
団体の 設立目的	この法人は、東北中学校区の住民やその周辺のスポーツを愛好する人達に、様々なスポーツの楽しさや魅力を知ってもらうために、スポーツ活動の場の提供や体力向上、健康の保持増進の為の一助となるスポーツ活動を展開し、地域住民の連帯感の高揚に寄与することを目的とする。		
団体の 活動実績	任意団体長野スポーツコミュニティクラブ東北としての活動実績 (NPO 法人を昨年認証された) ・H12年7月に創設する。 ・総合型地域スポーツクラブとして、12種類のスポーツ種目に関わる体制を確立する(スポコミランドの定着) ・年間2回、7日間のスポーツウィークを企画し、より多くの人達に、いろいろなスポーツを楽しんでもらえるイベントを開催する。		
構成員(会員)数	336人		

<p>応募する活動のタイトル</p>	<p>キッズを対象とした「アドベンチャーワールド」を創るための試行事業</p>																		
<p>応募する活動の目的及び達成目標</p>	<p>◎現在の地域や社会の問題・課題と応募する活動の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域にいる人達の交流を図るために、スポーツを核とした活動を8月から試行的に実施したい。 ・脳の発達に関わりの深い8才以下の幼児、子ども達の関わりを多様なスポーツ活動や遊びをとおして、「群れて遊べる」環境を創りたい。 ・子ども達を支える、元気なおじいちゃん・おばあちゃんが孫たちと関わりながら、自分たちも元気になる生きがいや活力を高める。 <p>◎応募年度の達成目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びの中で鍛えられる身体機能のバランスや精神的なたくましさの必要性を認知してもらいながら、活動実践を進めることが出来る。 ・東北中学校区の状況を把握しながら、来年度の本格的な活動メニューを考える。 ・幼稚園や学校関係者との連携を図る。 ・活動場所や運営組織の充実を図る。 																		
<p>応募する活動の具体的内容</p>	<p>◎実施項目：陸上、サッカー、バスケットボール的なスポーツを絡ませながら、おじいちゃん・おばあちゃん達が知っている勝ち負けの楽しさだけでなく伝承遊びやリズムダンス等の遊びを試行的に実施する。</p> <p>◎場所：柳原、古里、長沼の地域体育館を活用する。</p> <p>◎対象者：東北中学校区の8才以下の幼児、子ども達と元気なおじいちゃん・おばあちゃん達を対象とする。</p> <p>◎指導者：信州大学や長野県短期大学の学生にボランティアとしてお願いしていく。</p>																		
<p>年間計画</p>	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="272 1261 432 1350">4月</td> <td data-bbox="432 1261 1436 1350">検討会議 法人に関わりのある保護者（既存会員）とビジョンの共有化</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1350 432 1440">5月</td> <td data-bbox="432 1350 1436 1440">検討会議 地域対象者の把握 ニーズの調査 指導体制の検討</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1440 432 1529">6月</td> <td data-bbox="432 1440 1436 1529">検討会議 8月からの参加者募集 1回目のチラシ配布</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1529 432 1619">7月</td> <td data-bbox="432 1529 1436 1619">検討会議 参加者把握（各地区約15名位を目標に）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1619 432 1709">8月</td> <td data-bbox="432 1619 1436 1709">柳原、古里、長沼で各地区週1回の活動開始 活動内容検討</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1709 432 1798">9月</td> <td data-bbox="432 1709 1436 1798">同上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1798 432 1888">10月</td> <td data-bbox="432 1798 1436 1888">同上 2回目のチラシ配布 指導者対象の研修会</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1888 432 1977">11月</td> <td data-bbox="432 1888 1436 1977">同上</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1977 432 2047">12月</td> <td data-bbox="432 1977 1436 2047">同上 3回目のチラシ配布 保護者対象の研修会</td> </tr> </table>	4月	検討会議 法人に関わりのある保護者（既存会員）とビジョンの共有化	5月	検討会議 地域対象者の把握 ニーズの調査 指導体制の検討	6月	検討会議 8月からの参加者募集 1回目のチラシ配布	7月	検討会議 参加者把握（各地区約15名位を目標に）	8月	柳原、古里、長沼で各地区週1回の活動開始 活動内容検討	9月	同上	10月	同上 2回目のチラシ配布 指導者対象の研修会	11月	同上	12月	同上 3回目のチラシ配布 保護者対象の研修会
4月	検討会議 法人に関わりのある保護者（既存会員）とビジョンの共有化																		
5月	検討会議 地域対象者の把握 ニーズの調査 指導体制の検討																		
6月	検討会議 8月からの参加者募集 1回目のチラシ配布																		
7月	検討会議 参加者把握（各地区約15名位を目標に）																		
8月	柳原、古里、長沼で各地区週1回の活動開始 活動内容検討																		
9月	同上																		
10月	同上 2回目のチラシ配布 指導者対象の研修会																		
11月	同上																		
12月	同上 3回目のチラシ配布 保護者対象の研修会																		

	1月	同上	4回目のチラシ配布 次年度の活動メニューの検討
	2月	同上	次年度の募集 5回目のチラシ配布 3地区合同開催
	3月	同上	次年度の募集 6回目のチラシ配布 3地区合同開催
活動することで期待される地域や社会への具体的な効果・成果 ※「公益性」の視点	<p>◎幼児、子ども</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体機能のバランスのとれた発育ができる。 ・精神的に我慢強いたくましさが養われる。 ・仲間との関わり方や幅広い活動体験ができる。 <p>◎保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団の中での、子ども達の行動や考え方のたくましさの発見ができる。 ・地域とのつながりや関わりの中で生活していることの必要性を気づくことができる。 <p>◎おじいちゃん・おばあちゃん</p> <ul style="list-style-type: none"> ・孫世代との交流をとおして元気になったり、生きがいを感じる事ができる。 <p>◎地域社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ等をとおして、地域のつながりを強くしていくことができる。 		
活動を継続するための取り組み（資金面、人材等） ※「自立性」の視点	<p>活動を続けながら、本活動の意義を地域の方々と共有していく。また、H26年度以降は、法人の活動としてやれる運営体制を考えたい。情報把握や体制づくりを検討しながら模索を続けたい。</p> <p>◎資金面</p> <p>会費の設定が重要になる。現状把握をしながら研究し、その後の方向をだしたい。</p> <p>◎人材面</p> <p>指導的な立場に、信州大学や長野県短期大学の学生との協力体制を模索したい。また、元気なおじいちゃん・おばあちゃんとのように関わられるかを研究したい。</p>		
翌年度以降の活動内容の概要	<p>翌年度</p> <p>26年度は、25年度の8月から実施してきた「キッズ連携アドベンチャーワールド」を基に、4月からの活動を進める。3カ所で実施している活動をどのように連携できるかを視野に入れて、活動の充実を図る。</p>		
	<p>翌々年度</p> <p>27年度は、活動範囲をより広げ、PRしながら他地域への波及を考え、近隣の「ゆたかのスポーツクラブ」や「東和田総合型地域スポーツクラブ」と協力しながら、実践していきたい。8才までに「群れて遊びきる活動」の重要性を実証していきたい。</p>		
事業の最終目標	<p>脳の発達に関わりの深い8才までの幼児・子ども達が、より広い地域の仲間とスポーツをとおしてつながることのできる「キッズ連携アドベンチャーワールド」の活動を定着させたい。そして、その必要性が地域で実感され、社会的に注目されるような活動にしていきたい。まずは、長野市のモデル的な活動にしていきたい。</p>		

必要経費

(単位 円)

科 目	金 額	
謝金・賃金		
旅費交通費	288,000	
消耗品費		
印刷製本費	30,000	
広告宣伝費		
通信運搬費		
使用料		
備品購入費		
合 計	^A 318,000円	

自己資金

名 目	金 額	
会費	38,000	
寄附金・協賛金		
参加者負担金	180,000	
事業収益金		
合 計	^B 218,000円	

<p>補 助 金 要 望 額 (C)</p>	<p>C = A - B</p>
<p>※補助割合・限度額</p> <p>【企画研究部門】 Aの金額以下、ただし10万円以内</p> <p>【実践活動部門】 (スタート枠) A×0.8の金額以下、ただし50万円以内 (ホップ) A×0.8の金額以下、ただし100万円以内 (ステップ) A×0.6の金額以下、ただし60万円以内 (ジャンプ) A×0.4の金額以下、ただし40万円以内</p>	<p>100,000円 (千円未満切り捨て)</p>